



下伊勢畑在住 照山 晋一さん

私は市内の酒店に勤めています。店は創業80年近く、現在の社長で三代目だそうです。前職とは違う仕事に就いた私ですが、お店の方や、常連のお客様に支えられ毎日充実した日々を過ごしています。

おもな仕事は、お得意様への配達です。毎日、ご注文いただいた商品をお客様に届けています。その中でお客様との会話や「ご苦労様」といったさりげない言葉に心が温まります。

私は、他市からの移住者です。はじめはなれない土地での生活に不安もありましたが、地元の方々の温かい心に支えられ、もうすぐ十年が過ぎようとしています。

この常陸大宮市には、私が育った子どもの頃の豊かな環境が未だに残されており、私の子どもたちも春には山菜とり、夏には魚釣り等、四季折々楽しんでます。出来るだけ長くこの地で暮らしていきたいと日々がんばっています。

## 12年ぶり西金砂神社小祭礼

3月19日から22日の4日間、神輿を中心とした150人程の行列が、各地で祭事を行ないながら、常陸太田市馬場町へ渡御し神社へ還御する、西金砂神社小祭礼が12年ぶりに開催されました。

氏子である諸沢地区では、5人の氏子総代が渡御行列に加わるほか、小祭礼最終日に西四ヶ村の式として、境内大町場で花纏の繰込みを行なうことになっています。昨年秋には、地区内の寄付金の収集や、花纏の繰込みに関わる準備を行うための組織として世話人などが選出され、年末から準備を進めてきました。

氏子4地区が負担する神社で必要とする小祭礼の経費は1,200万円余り。諸沢独自の必要経費を加えると負担は大変な金額になりますが、不況だからこそ景気回復を祈る気持ちが強く、目標額を上回る寄付金が集まったそうです。



大町場での花纏の繰込みは有名ですが、その前日と翌日に、繰込みと同じ行列を組んで地元の寺院と鎮守を回る、「笠揃え」と「笠ぬぎ」が行なわれていることは、意外に知られていません。小祭礼への参加と、無事終了したことを、地区の鎮守十二所神社に報告するために行うとのことでした。

本番である大町場での繰込みの日は、風雨の強いあいにくの天候となってしまいましたが、諸沢での催しは、春のうららかな陽気の中、茨城大学の学生らもボランティアとして参加し、古式にのっとり行なわれました。

歴史民俗資料館では、諸沢地区の小祭礼の様子を今回映像で記録しました。今後、上映会や写真パネルを使ったミニ展示を行い、西金砂小祭礼の魅力を感じていただきたいと考えています。



### 広報 常陸大宮 5月 第56号

発行日 平成21年5月25日  
発行/常陸大宮市  
編集/企画課  
〒319-2292  
茨城県常陸大宮市中富町3135-6  
TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010  
E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp  
URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

### 2011年7月24日 地上デジタル放送完全移行



デジタル放送に関するお問い合わせ先  
地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター  
TEL:0570-07-0101または03-4334-1111  
平日：9:00～21:00 / 土・日・祝祭日 9:00～18:00